

『月と六ペンス』おもな登場人物

私

作家。青年時代、ストリックランドに出会う。絵を描いている彼と、パリで再会したことで、後に画家として名声を得た彼の半生をたどる。

ストリックランド

株式仲買人だったが、ある日突然、家族を捨て、パリに向かう。40歳を過ぎていたが絵を描くことに心血を注ぐ。作家たちを集めて晩餐会などを催す。芸術好き。

ストリックランド夫人

ストループ

ストループ夫人

ニコルス船長

ティアレ

アタ

ブリュノ船長

オランダ人の絵描き。芸術作品への鑑識眼が鋭い。夫を健気に支えているが、実は意外な過去を持つ。マルセイユでストリックランドと貧窮の生活を送る。タヒチのホテルのおかみ。島一番の料理人。ティアレのホテルで働いていた。ストリックランドには、彼の世話をする。タヒチ時代のストリックランドを知る一人。

DIC  
142p

DIC  
212p

  
kobunsha  
classics

月と六ペンス

しおり(裏面)

DIC  
142p

DIC  
212p

  
kobunsha  
classics

月と六ペンス

しおり(表面)